

2025 年度入学 関西学院大学大学院
総合政策研究科 総合政策専攻
博士課程前期課程
入学試験(1次)

英語試験問題

受験についての注意

試験開始の合図があるまで問題文を見ないでください。

解答用紙が不足する場合は、手をあげて監督者に申し出てください。

解答はすべて解答用紙に記入してください。

英和辞書 1 冊のみ持ち込み可とします。(ただし、電子辞書・パソコンの辞書機能等、電子機器類の使用を認めません。)

試験中に、問題用紙の不鮮明・欠落などに気がついた場合は、監督者に申し出て下さい。

試験の途中で退室することはできません。ただし、気分が悪くなったり体の調子が悪くなった場合などは、監督者に申し出てください。

2024 年 8 月 2 日実施

問題 1

次の英文(Pinker, Steven. *Rationality*. UK: Penguin Books, 2021.より抜粋.一部改変)を読んで
次頁の問いに答えなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(1) 空欄 に入る数字として最も適当なものを、下の①～④から 1 つ選びなさい。

- ① 105
- ② 110
- ③ 115
- ④ 120

(2) なぜ下線部 (イ) のようになるのかを、本文第 4 段落 (Fredrick calls から始まる段落) の内容を基に日本語で説明しなさい。

(3) 空欄 に入るものとして最も適当なものを、下の①～④から 1 つ選びなさい。

- ① cognition
- ② computation
- ③ patience
- ④ innocence

(4) 下線部 (エ) を、it が何を指すのかを明確にしながら日本語に訳しなさい。

問題 2

以下は、イギリスのガーディアン紙に掲載された記事です。各問に答えなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

注: night owl 夜型の人、early bird 朝型の人、type 2 diabetes 2 型糖尿病、cardiovascular disease 心血管疾患、treadmill ルームランナー、carbohydrate 炭水化物、obesity 肥満

- (1) 下線部(A)を日本語に翻訳しなさい。
- (2) 下線部(B)が指す内容を 20 字程度で説明しなさい。
- (3) 下線部(C)を日本語に翻訳しなさい。
- (4) 下線部(D)を日本語に翻訳しなさい。

出題意図

問題 1

英語の基礎的な知識と総合的な英語力を問うことが出題の意図である。具体的には読解力、文法や語彙の知識などの知識を幅広く評価する問題となっている。

問題 2

英語テキストの読解力と日本語への正確な翻訳能力を問う。特に、英語文法を理解したうえで訳すことができているかを問う。

解答例

問題 1

(1) ②

(2) 二つの認知システムの内一つ（システム 1）は急速かついとも簡単に働き、それゆえに間違った答えへと人を誘導するため。

(3) ③

(4) 一般的に人は指数関数的成長を一定の変化あるいは緩やかな増加と見誤ってしまい、絶え間なく続く倍増に想像が追い付かなくなってしまうのである。

問題 2

(1) 早起の人は、夜更かしの人よりも脂肪をエネルギー源としてより多く消費し、その日を通じてより活発となりやすい。つまり、夜更かしの人には脂肪が蓄積されやすいことが、科学者たちの研究から明らかになった。

(2) 早起きか夜更かしかという行動パターン

(3) 潜在的な説明として、体内時計が乱れるさまざまな理由が考えられるが、特に成人では仕事が原因であることが多い。

(4) これらの研究結果は、夜勤の健康リスクに対する議論だけでなく、時計を日照時間に合わせるように変更する議論にも影響を与える可能性がある。